



TOPICS	
	主な議案の概要 特集【あなたの知らない市議会のセカイ】 2
	代表質問 5会派の代表により行われた質問を分かりやすく紹介 麻溝台・新磯野土地区画整理再開決定の考え方や効果は 3
	一般質問 市政全般に対して行われた質問を分かりやすく紹介 4 5 6
	委員会の審査 主な議案の審議結果 7
	特別委員会活動レポート 8

6月定例会議

原油価格・物価高騰対応に係る生活者・事業者支援に関する補正予算など9件の議案を可決・同意 表彰条例の一部改正の議案は否決

6月定例会議では、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援の一環として、低所得の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する事業に要する経費等を計上した補正予算が提出され、付託された民生委員会で周知方法等について質疑等がなされました。

また、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業の再開に伴い、必要となる経費を計上した補正予算について、本会議や建設委員会において今後の取組等について質疑等がなされました。

そのほか、原油価格や物価が高騰する中で市民生活を支援するための経費等を計上した補正予算が追加で提出され、本会議や関係する各常任委員会で質疑等がなされました。

なお、自治功労表彰の対象を追加する表彰条例の一部改正の議案については、総務委員会での審査を経て、本会議最終日に賛成、反対両方の立場から討論がなされ、採決の結果、賛成少数で否決されました。

その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



9月定例会議紹介ポスターデザイン



9月定例会議のお知らせ

9月定例会議の予定は、次のとおりです。

本会議・委員会は、午前9時30分から開会する予定です。

また、決算特別委員会の各分科会は、それぞれ同日の委員会終了後に開会される予定です。ただし、各委員会の審査の状況により、翌日以降の開会となることがあります。

- 8月 17日(水) 議会運営委員会
- 23日(火) 本会議(提案説明)
- 31日(水) 本会議(代表質問・個人質疑)
- 9月 1日(木) 本会議(代表質問・個人質疑)
<本会議終了後>
決算特別委員会
- 5日(月) 総務委員会
- 6日(火) 決算特別委員会総務分科会
- 6日(火) 環境経済委員会
- 7日(水) 決算特別委員会環境経済分科会
- 7日(水) 民生委員会
- 決算特別委員会民生分科会

- 8日(木) 建設委員会
- 決算特別委員会建設分科会
- 9日(金) 市民文教委員会
- 決算特別委員会市民文教分科会
- 21日(水) 決算特別委員会
- 26日(月) 本会議(一般質問)
- 27日(火) 本会議(一般質問)
- 28日(水) 本会議(一般質問)
- 29日(木) 本会議(一般質問)
- 30日(金) 本会議(委員長報告、採決)
<本会議終了後>
議会運営委員会

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・インスタグラムでもご覧になれます。本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!

6月定例会議

主な議案の概要

表彰条例の一部改正

自治功勞表彰の対象の追加

神奈川県議会議員及び国会議員を自治功勞表彰の対象となる職に追加する。

令和4年度一般会計補正予算(第2号) 補正額: 11億9,900万円

子育て世帯への臨時特別給付金事業 7億8,500万円

コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援の一環として、低所得の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

令和4年度一般会計補正予算(第3号) 補正額: 81億2,000万円

市街地整備基金積立金 76億円

麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業の事業継続に伴い、令和4年度以降の事業費の一部を積み立てる。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和4年度麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) 補正額: 1,000万円

土壤汚染状況調査及び土質調査の経費

土壤汚染が確認された宅地の汚染範囲を確定するための調査及び廃棄物混じり土の活用を検討するための調査を行う。

令和4年度一般会計補正予算(第4号) 補正額: 24億2,900万円

保育所等における物価高騰等に伴う給食食材費支援事業 4,870万円

コロナ禍における食材費の高騰に伴い、保育所等を利用している子育て世帯への給食費の負担増を抑制するため、食材費の高騰分の補助等を行う。

小中学校等における物価高騰等に伴う給食食材費支援事業 5,400万円

コロナ禍における食材費の高騰に伴い、小中学校等において、保護者負担を増すことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を実施するため、食材費の高騰分を市が負担する。

さがみはら森林ビジョン推進事業 400万円

コロナ禍における原油価格高騰の影響を受けている林業事業者の経営を支援するため、令和3年度の燃料購入量に応じて、燃料価格上昇分を助成する。

ようこそ

あなたの知らない市議会のサービス



議会用語編

市議会だよりでは、議会特有の言葉がいくつも使われているよ。普段、議会用語に出会う機会はあまりないかもしれないけれど、言葉の意味が分かると、もっと読みやすくなると思うから、いくつか紹介するね。



Q 「定例会議」と「臨時会議」の違いは？

A. 相模原市議会では「通年議会(一会期制)」を導入し、会期を1月から12月の1年間とすることで、議会が常に活動できる状態にあり、災害時や緊急的な行政課題に迅速に対応しています。年4回開催する定例会議では、市長から提出された議案の審議のほか、代表質問や一般質問が行われます。そのほか、補正予算等の審議のため、必要に応じて臨時会議を開催します。令和3年は、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算等のため、合計4回の臨時会議が開催されました。

Q 討論って何？

A. 議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自分の意見を表明することをいいます。討論は、単に自分の賛否の意見を明らかにするだけでなく、意見の異なる相手を自分の意見に同調させようと努めることにその意義があります。

Q 「代表質問」と「一般質問」の違いは？

A. 代表質問では、提出された議案に対する質疑のほか、併せて市の一般事務についても質問することができます。相模原市議会では、3名以上の会派が行う代表質問と、その他の会派及び会派に属さない議員が行う個人質疑があります。一般質問では、市政全般について、個々の議員から質問をします。

Q 請願・陳情って何？

A. 市民のみなさんが市政等について市議会に直接要望できる制度が、請願と陳情です。両者の違いは、請願が議員の紹介を必要とするのに対し、陳情はそれを必要としませんが、相模原市議会での取り扱いは同じです。

Q 会派って何？

A. 市政について、同じ考え方や意見を持っている議員が集まり、自分達の考えを効果的に市政に反映させるためにグループを作って活動しています。これを会派といいます。相模原市議会では2人以上で会派を結成することができ、現在5つの会派があります。



代表質問

5会派による代表質問の要点をピックアップしました。詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)などをご覧ください。

【代表質問を行った議員】
 (6月6日)
 大槻 和弘(自 民 党)
 関根雅吾郎(市民民主)
 岡本 浩三(公 明 党)
 (6月7日)
 松永千賀子(日本共産党)
 野元 好美(颯 爽)



6月6日



6月7日

麻溝台・新磯野土地区画整理再開決定の考え方や効果は

Q 事業の再開に当たっての市長の決意は。

市長 目的や効果等を総合的に勘案した結果、将来に向かって市が発展する上で必要な事業と判断し、再開を決定した。今後は市民に理解いただくとともに、地権者の理解や協力の[※]下、新たな拠点の早期完成に向け全市一丸となって取り組んでいく。

Q 事業が本市の将来にもたらす効果は。

市長 産業を中心とした新たな拠点として良好な市街地が形成されることで、地域が活性化し、魅力ある都市景観が創出される。さらに、年間約9億円の税収効果や新たな企業の立地による雇用創出効果が見込める等、本市の目指す都市構造の実現や財政基盤の強化を図ることができると考えている。

Q 複数年の事業費の一般財源分を一度に市街地整備基金(※1)に積み立てる理由は。

市長 再開に当たっては、事業の円滑な実施及び早期完了を図るため、財源を確実に担保する必要があると判断し、事業に要する経費を市街地整備基金に積み立てることとした。

Q 積み立ての財源を財政調整基金(※2)から取り崩すことの影響は。

市長 令和3年度決算の確定に伴い、決算剰余金の一部を積み立てることとなり、一定程度の残高は確保できることから、直ちに今後の財政運営に影響が生じることはないと考えている。



麻溝台・新磯野第一整備地区の全景 5月20日の全員協議会での事業再開の説明

本市に住むウクライナ避難者に支援や募金の実施状況は

Q 避難された方に対する本市の支援は。

市長 市営住宅の提供のほか、相談等の際に必要な通訳・翻訳を行っている。また、民間企業・団体等の協力を得ながら、食料等の支給や、生活の自立に向けた就労支援等も行っており、引き続き、避難者のニーズに寄り添った対応を進めていく。

Q 避難された方を支援するための募金の実施状況は。

市長 一時金10万円を支給することを目的に、市も構成団体となっている相模原市国際化推進委員会が実施している。6月5日現在で19件、約47万円の募金があり、順次支給いただいている。



市全体で世界平和を願う気持ちを示すシンボルマーク

温かい中学校給食をみんなで全員喫食実現に向けた取組は

Q 庁内に設置した「学校給食改革本部」の目的と役割は。

市長 全員喫食早期実現のため、市長と教育長を本部長とし、施設の整備運営や事業費等の給食全般について、それぞれの役割や権限の下で連携して検討を進めることを目的に設置した。

Q 外部検討組織による検討のスケジュールは。

教育長 今後設置予定の「相模原市学校給食あり方検討委員会」において、本年11月頃に給食提供の実施方式についての中間答申を、令和5年7月頃に全員喫食の環境を活用した食育の方針等の最終答申をいただきたいと考えている。

Q 新しく給食センターを設置する場合の進め方は。

市長 設置場所については、敷地の条件等、教育委員会の意向を確認しながら学校給食改革本部で検討していく。全体スケジュールは、新しい給食施設の整備や中学校の配膳室の改修等に期間を要するため、令和8年中を目標に取組を加速していく。

原油価格や物価の高騰から市民生活を守る取組は

Q 原油価格・物価高騰等総合緊急対策(※3)への対応は。

市長 コロナ禍において、経済的に厳しい環境に置かれた市民や事業者の負担軽減に繋がる効果的な事業を早急[※]に実施する必要があるため、補正予算を早期に提案できるよう調整していく。

Q 学校給食の食材費高騰に対する保護者負担軽減の取組は。

教育長 現在は献立の工夫等により、必要な栄養価や量の維持に努めている。今後も食材費の高騰が想定されることから、保護者の負担を増すことなく、給食の質と量を確保するため、国の臨時交付金を活用し、対応していく。

新型コロナウイルスワクチン若者や小児向け接種の対応は

Q 若者世代の3回目接種促進のための取組は。

市長 駅から近い会場での夜間接種や当日予約による接種等、ライフスタイル等を踏まえた取組を行っている。今後はホームタウンチームと連携した取組等により、接種促進に繋げていく。

Q 小児接種の方法やクーポン券送付の考え方は。

市長 医療機関での個別接種を中心に進めているが、接種機会の確保のため、集団接種でも専用会場を設けて実施した。クーポン券は、接種に関する理解を深めて希望者が速やかに接種を受けられるよう、対象年齢となる全ての方に送付している。



集団接種会場でのホームタウンチームの展示

- 用語解説**
- ※1 市街地整備基金
土地区画整理事業等の市街地整備事業の財源として積み立てる基金。今回、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業の財源として、76億円を財政調整基金から繰り入れた。
 - ※2 財政調整基金
年度間の財源の不均衡を調整する基金。決算剰余金の一部等を積み立て、税収減少時や突発的に多額の財政需要が発生した時等、サービス水準を一定に保つために取り崩して用いる。
 - ※3 コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」
4月26日に関係閣僚会議において決定されたもので「原油価格高騰対策、エネルギー・原材料・食料等安定供給対策、中小企業対策等、生活困窮者等への支援」の4つを柱とする。



あきもと じん
秋本 仁
(自民党)

都市計画道路宮上横山線 東橋本地域の整備の進捗は

市長 計画延長約670mのうち、本年度は約400mの整備が完了の見込みで、今後は、町田市と連携して橋りょう整備や残る区間の工事を実施し、令和5年度末の開通を目指して進めていく。

大島地域の県道48号安全対策 波打ち歩道(※)改修の考え方は

市長 切り下げ部分の間隔が10m未満の箇所等を改修しており、当該路線もこれに基づき、対策の必要な箇所について、波打ち歩道の解消を行っている。

その他の質問 好きなスポーツに取り組める環境/水源文化の発信など

※波打ち歩道 歩道部分が車道部分より高く、民地との出入りのための車両乗入部や横断歩道との接続部において、歩道の高さを切り下げることにより傾斜が発生している歩道



県道48号の波打ち歩道(緑区大島)



うしろだ ひろみ
後田 博美
(公明党)

光が丘周辺地域の学校再編 並木小学校再編の検討状況は

教育長 現在設置されている協議会(※)で、弥栄小に再編する案と光が丘小に再編する案が示されているため、弥栄小に関係する方を新たに加え、9月から同協議会で検討を進めていきたい。

乳がん患者の社会参画に繋ぐ 乳房補整具購入助成の実施は

市長 心理的負担の軽減や社会参加への支援は重要と認識している。購入助成については市民ニーズ等を踏まえつつ、がん患者への支援を総合的に検討する中で、調査・研究を進めていく。

その他の質問 安全・安心のまちづくりなど

※地域区分 介護保険サービス事業所の介護報酬を計算するに当たり、地域ごとの物価や人件費の違いを考慮し、地域格差を調整するために設けられたもの



ふせ はつこ
布施 初子
(自民党)

大学生等に向けた食材支援 支援の対象を拡大する考えは

市長 大学等に在籍していない若者への対象拡大は、若者のニーズや、食材確保等の課題があると認識していることから、本年度、一部の開催で試験的に対象範囲を広げ、検証していく。

相模原麻溝公園の暫定広場(※) ナラ枯れ被害からの再開は

市長 市民の安全・安心を第一に、特に倒木の恐れがある危険木から優先的に伐採している。利用再開には全ての被害木を伐採する必要があり、引き続き、被害木の一掃に取り組んでいく。

その他の質問 特別支援学級など

※暫定広場 相模原麻溝公園(その他区域)内にある暫定スポーツ広場

※協議会 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会。光が丘地区の望ましい学習環境の在り方を検討するため、保護者と地域の代表者で組織する。平成30年8月に設置した。



並木小学校外観



6月定例会

質

市政全般にわ
ポイントを

議案以外
に関する
一般質問



さくらい
桜井 はるな
(市民民主)

相模大野ステーションピアノ事業 3月に実施してみたの総括は

市長 まちや人を元気づけ、にぎわいの回復に繋がったものと考えている。また、SNSの動画が約250万回も視聴される等、まちのイメージ向上等に寄与していると認識している。

本市の小児医療費助成事業 高校3年生まで拡大の考えは

市長 対象年齢の拡大については、庁内に設置した少子化対策検討会議において、子育て世帯の満足度を高める効果的な施策、事業の検討を行う中で、必要性を判断していく。

その他の質問 風しん予防接種促進事業など



いまみや ゆうき
今宮 祐貴
(日本共産党)

減らない本市の交通事故 現状分析と事故防止の取組は

市長 自転車や高齢者が関係する交通事故の割合が依然として高いと認識しており、安全な通行環境の整備とともに、交通ルール順守とマナー向上を徹底していく必要があると考えている。

新たな住宅セーフティネット制度(※) 「専用住宅」の登録推進は

市長 専用住宅は住宅確保要配慮者への更なる支援に繋がる一方、貸し主には制度上、制約が生じることが課題となっている。登録の促進については、国等の動向を踏まえ研究していく。

その他の質問 淵野辺5丁目に建設中の物流施設など

※新たな住宅セーフティネット制度 平成29年10月スタートの制度で、要配慮者(高齢者、障害者、低額所得者等)の住宅として民間の空き家・空き室を活用するもの。貸し主は、登録住宅の改修等の補助が受けられる。



にしな なつみ
仁科 なつ美
(市民民主)

個人情報保護制度の見直し 匿名加工情報(※)提供制度とは

市長 新たな産業の創出等を目的とするもので、市が提案募集を行い、事業者の提案が審査基準に適合するときに、市は匿名加工情報を提供し、事業者はその利活用を図ることになる。

圏央道相模原インターチェンジ 料金所ETC専用化の周知は

市長 NEXCO中日本により、HPやラジオでの情報提供等が行われている。また、既存の大型案内標識への表示や、ETC専用を明示した標識の設置で案内をしていると伺っている。

その他の質問 DXの推進/障がいのある方の成人式など

※匿名加工情報 特定の個人を識別できないよう個人情報を加工し、復元できないようにした情報。一定のルールの下、個人情報の利活用の促進を目的に、個人情報保護法の改正により導入された。



さとう ひさし
佐藤 尚史
(自民党)

避難所生活のストレスを軽減 TKB48(※)の本市の現状は

市長 仮設トイレや鍋等を備蓄し、段ボールベッド等も計画的な備蓄を進めている。今後も、避難所を開設した際には市の備蓄物資を速やかに提供する等、生活環境の向上に努めていく。

林業を取り巻く厳しい環境 経済生産性の向上の取組は

市長 林業従事者の技術習得等、様々な要素を踏まえ、現状に即した取組を実施していく。本年度は森林整備費確保の観点から、J-クレジット(※)の試験的導入を財産区と連携し取り組んでいく。

その他の質問 中山間地域の医療のあり方など

※TKB48 避難所において、トイレ(衛生面)・キッチン(食生活の改善)・ベッド(安定した生活空間の確保)を、発災後48時間以内に一定数配備する取組。TKBはそれぞれの言葉の頭文字
※J-クレジット制度 国が運営する温暖化対策の制度。事業者の森林整備等の取組によるCO2削減量について、環境価値をクレジットとして認証し、削減量を必要とする事業者との売買を可能にするもの



たどころ けん たろう
田所 健太郎
(日本共産党)

Q 藤野駅改札外へのエレベーター設置に向けた今後の取組は

市長 交流人口の増加を目指すことは重要と考えており、今後、駅の利用者の増加や状況の変化等が見られる場合には、改めて設置の必要性について検討していきたい。

Q 修正後の地域防災計画個別支援の具体的な取組は

市長 令和元年東日本台風での被災者支援の検証をはじめ、先行自治体の事例を参考にし、被災者一人一人に寄り添った個別の支援がきめ細かに行えるよう、体制等について検討していく。

その他の質問 本市出身の偉人、尾崎行雄(警堂)など



わた なべ とし おき
渡部 俊明
(自民党)

Q 地域で家庭教育の支援を本市における取組状況は

教育局長 市内の2団体が家庭教育支援チーム(※)に登録し、子育てセミナーの開催等、主体的に取り組んでいる。市では、市PTA連絡協議会と連携し、支援を担う地域人材の育成等に努めている。

Q 通学路の安全確保に資する市内小学校の登校班の現状は

教育局長 各学校の通学区域における道路・交通事情、防犯環境等、地域の事情を考慮し、PTAや子ども会が中心となって、班編成や集合同所を決定し、教育委員会に報告いただいている。

その他の質問 自治体のDX推進/ロボット産業とまちづくりなど

※家庭教育支援チーム 子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成された自主的な集まりで、保護者への学びの場の提供や地域の居場所づくり等を行う。文部科学省が登録制度を設けている。



JR藤野駅外観



いし かわ いたる
石川 達
(市民民主)

Q 都市計画道路相模台双葉線取得済用地活用の取組状況は

市長 市場調査を実施し、2団体から意見を伺った。現在、取りまとめを行っており、これを基に実施方針案を策定し、地域の意見を伺った上で取得済用地の有効活用を図っていく。

Q 金などの有価物を含む残骨灰入札等により売却する考えは

市長 残骨灰の取り扱いは自治体ごとの判断に委ねられている。本市では、残骨灰は人体の一部で供養、慰霊の対象と考えており、残骨灰全体を入札等により売却することは考えていない。

その他の質問 国、県の施策を活用するなどの市内経済活性化など



市営高場外観

※ADHD 集中力が持続せず別の事柄に注意が向いたり、じっとしていられない、衝動的に行動を起こしてしまうという症状に困難性をもつ障害



い が し ら し ち ょ
五十嵐 千代
(颯 爽)

Q 地域に開かれた学校へ学校ホームページでの校則公表は

教育局長 校則の内容を広く周知し、取組を理解いただくことは、地域に開かれた学校づくりを進める上で有効な手段と考えている。現在9校が公表しており、他の学校にも働きかけていく。

Q 女性が直面する更年期の悩み更なる理解促進への取組は

市長 当事者と社会の理解促進が必要と考えており、健康相談の実施やパネル展示等の普及啓発を行っている。今後も、市HPに分かりやすく掲載していく等、更なる充実を図っていく。

その他の質問 対話によるまちづくりなど



議会中継(録画)

議 般 問

たる、一般質問の抜き出しました。

の市政全般質問をと言うんだよ。



お の ざ わ こう いち
小野沢 耕一
(自民党)

Q 水源地の根小屋が候補地に最終処分場整備(※)への考えは

市長 津久井地域では、これまで水源地域として自然環境を守り続けてきたと認識している。現在、候補地ごとに地域へ説明しており、頂いた意見等に丁寧に向き合い取り組んでいきたい。

Q 緑区三井・名手間の通行止め道路法面の状況と市の取組は

市長 当該区間は急峻な斜面に土砂が堆積し、大規模な浮石等が点在する等、再び崩落等の恐れがある。地域に随時現状を報告し、昨年度の調査結果を基に今後の対応の検討を進めている。

その他の質問 中山間地域対策など

※最終処分場整備 令和4年3月に、次期一般廃棄物最終処分場の候補地を選定する審議会から市長に対して答申があり、緑区根小屋2箇所及び南区麻溝台2箇所の計4箇所が候補地として選定された。



う す い た か ひ こ
白井 貴彦
(市民民主)

Q 相模総合補給廠北側外周道路用地取得や国との協議状況は

市長 用地測量は約80%が完了し、後は残りの境界を確定後、順次用地取得を行う。本年度、返還の条件工事を予定する上矢部側の区間は、土地の維持管理等を国や米軍と協議している。

Q ADHD(※)等の児童生徒を支援通級指導教室(※)の体制整備は

教育局長 通級指導教室はコミュニケーションスキルを身につける大切な学びの場であると捉えており、本市では、毎年2校ずつ増設し、令和5年度には、小中合わせて12校とする予定である。

その他の質問 本市の人口/相模原市立地適正化計画の誘導施策など

※通級指導教室 ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、児童生徒の状態に応じて指導する場。本市には2種類あり、情緒的な課題等のある児童生徒を対象に「サポートルーム」を設置している。



にし や かつ み
西家 克己
(公明党)

Q 相模原駅北口地区まちづくり民間事業者委員(※)への期待は

市長 脱炭素のまちづくりは日々技術革新が進む分野で、最新の成果の導入が必要と認識している。委員の豊富な実績や専門的な知見に期待しており、ノウハウ等も活用し取り組んでいく。

Q ウクライナ避難民の就労支援受け入れが進むための取組は

市長 市就職支援センターで、職業紹介や就職後のフォロー等、きめ細かな支援を行っている。受け入れ企業に対しても、本人との相互理解を深められるよう、引き続き支援を行っていく。

その他の質問 災害に強いさがみはらを目指してなど

※民間事業者委員 脱炭素社会の推進という観点から土地利用計画の方向性を検討するに当たり、実際にまちづくりを行った経験等を検討に反映するため、民間事業者から検討会議の委員を募集した。



くり はら ゆ た か
栗原 大
(市民民主)

Q 鳥屋地区リニア車両基地回送線旅客化実現への働き掛けは

市長 実現に向け非常に多くの課題があると認識しているが、地域の活性化や観光振興に繋がると考えており、JR東海の幹部と面会した際、将来的には検討をお願いしたいと伝えている。

Q 横断歩道で多い自転車の事故交通ルール順守のための取組は

市長 防犯交通安全指導員による交通安全教室のほか、市内の事故事例を取り入れた講習会等を開催している。引き続き、自転車の安全運転に関する周知・啓発を進めていく。

その他の質問 鳥屋小学校体育館の解体/津久井消防署鳥屋出張所など

一般質問

6月定例会議



あべ よしひろ
阿部 善博
(自民党)

Q ゴミ収集箱の新規設置が困難
本市の現状認識と対応は

市長 集積場所の設置は、相統等により新たな集積場所が見つからないこと等が課題である。引き続き、利用者に寄り添った対応を図り、収集作業員の安全確保等も考慮し、決定していく。

Q イベント誘致にはホテル等が必要
市長自ら積極的な働き掛けは

市長 リニア中央新幹線の開業を見据えたホテル等の誘致は、本市の発展に寄与すると考えている。今後のまちづくりの方向性の検討に合わせ、必要な機能の積極的な誘致に努めていく。

その他の質問 障害者福祉など



ゴミ集積場所の一例



くぼ たひろたか
久保田 浩孝
(公明党)

Q 災害発生時の児童クラブ
市の対応と民間への支援は

市長 市立のクラブでは、避難所の開設状況やルートを確認し、職員が引率して保護者に引き渡しを行う。民間のクラブに対しては、毎年、避難訓練の実施状況を確認している。

Q 学校屋内運動場の空調設備
教育委員会主導での整備は

教育局長 昨年度に設置した学校が、本年度から通年使用となることから、実施効果やランニングコスト等を検証し、今後、整備の必要性を含め、検討していきたい。

その他の質問 子どもと家庭を社会全体で支援するために／行政運営など



かね こときお
金子 豊貴男
(市民民主)

Q 3年目の自転車活用推進計画
自転車道等整備の進捗状況は

市長 安全で快適な自転車等の通行環境の構築として、自転車道等については、令和3年度までに18.2kmの整備が完了し、整備率は61%となっている。

Q 突然の厚木基地騒音度調査
国に対して反対の意思表示は

市長 騒音状況が変化していることを踏まえ、この度、国が航空機騒音の現状を適切に把握するため実施するものであり、市としても、本調査を否定すべきものではないと考える。

その他の質問 本市における特定外来生物等の実態と対応など



すず き こうち
鈴木 晃地
(無所属)

Q コロナ禍での休日の学校開放
グラウンド等の使用上の定めは

市長 ガイドライン(※)において、利用者の体調等の確認項目や消毒方法のほか、利用上の順守事項として、対外試合等を行う場合の条件や水分補給以外の飲食の禁止等について規定している。

Q 特別支援学級を支える職員
欠員が生じた場合の対応は

教育局長 常勤教員や非常勤講師は、代替教員の配置が決まるまで校内の教員が指導している。非常勤介助員は、1校あたり複数配置を基本としているため、勤務シフトの調整で対応している。

その他の質問 閉鎖した公共施設の活用など

※ガイドライン 相模原市学校体育施設開放の利用ガイドライン。コロナ禍で一旦中止した学校体育施設の開放を再開するに当たって策定した。



は せ が わ こ
長谷川 くみ子
(颯 爽)

Q 生活困窮者の支援に不可欠
ケースワーカー
CWの募集や育成の考え方は

市長 生活保護利用世帯の増加により、一定期間、任期付職員の活用を図る。CWは、経験等を積み重ね、困難事例に向き合い、対応できる人材として育成していくことが重要と考えている。

Q (仮称)相模大野4丁目計画(※)
工事中断の要因や課題は

市長 建築主からは、今般の鉄骨等の資材価格や人件費の高騰に伴い、施工方法を含め、工事費と工期を再精査しており、本年7月中旬を目処に、工事を再開する予定と伺っている。

その他の質問 基地に起因する騒音等への対応など

※(仮称)相模大野4丁目計画
伊勢丹相模原店跡地における建築計画



(仮称)相模大野4丁目計画の現地

※令和元年東日本台風に係る
相模原市復旧・復興ビジョン
令和元年東日本台風の被害からの復旧・復興に向けて、これまで行ってきた取組や、今後行う取組のスケジュール等を取りまとめたもの



す だ たけし
須田 毅
(自民党)

Q 銀河アリーナの今後の在り方
検討プロセスやスケジュールは

市長 昨年度行ったサウンディング型市場調査における提案内容や市民アンケートの意見等を踏まえ、改めて施設の在り方について、慎重に検討を進め、本年度中に方向性を決定していく。

Q 相模原市復旧・復興ビジョン(※)
達成に向けた今後の取組は

市長 復旧が未完了の林道等や藤野北小学校施設の復旧を着実に進めていく。被災者への相談支援等とともに、市民の防災意識や職員の防災対応力の向上等にも継続して取り組んでいく。

その他の質問 恒久的な子どもの遊び場の確保など

詳しい内容については、
市議会ホームページや
議会中継(録画)をご覧ください。



陳情の審議結果

不採択

- ▷消費税インボイス制度の実施延期を求めることについて
- ▷国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求めることについて

撤回

- ▷沖縄県辺野古の米軍基地建設に、沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を使用しないことを国に求めることについて
- ▷核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求めることについて

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、細部にわたり審査されました。主な条例等に関する質問事項は、次のとおりです。

総務委員会

表彰条例の一部改正

- 6月定例会議に提案した理由
 - 表彰審査委員会委員からの意見
 - 市民理解を得るための取組
- 【委員長裁決により否決】

民生委員会

令和4年度一般会計補正予算(第4号)所管部分 ※保育所等における物価高騰等に伴う給食食材費 支援事業に関して

- 市内保育所等の給食費の値上げ状況
 - 事業実施により保護者が受けるメリット
 - 今後、食材費の高騰が進んだ場合の市の対応
- 【賛成総員により可決】

環境経済委員会

令和4年度一般会計補正予算(第4号)所管部分 ※さがみはら森林ビジョン推進事業に関して

- 今回の補正予算で実施する支援の目的や概要
 - 林業事業体以外の、林業に携わる事業者への支援
 - 持続可能な林業に向けた市の取組
- 【賛成総員により可決】

建設委員会

令和4年度麻溝台・新磯野第一整備地区土 地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

- 今回の補正予算で実施する土壌汚染状況調査と土質調査の目的
 - 昨年度調査で土壌汚染の基準値を超えた箇所数と検出された物質
 - 廃棄物混じり土を活用する場合の方法
- 【賛成多数により可決】

市民文教委員会

令和4年度一般会計補正予算(第4号)所管部分 ※小中学校等における物価高騰等に伴う給食食材 費支援事業に関して

- 食材費の高騰の影響が学校給食に出始めた時期
 - これまで行ってきた給食調理における工夫
 - 市内農家との協力による食材調達の取組
- 【賛成総員により可決】



6月定例会議主な議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対、—…退席
議案に対する討論が行われた場合、賛成討論は[賛]、反対討論は[反]を付記しています。

議案番号	議案	自民党	市民民主党	公明党	日本共産党	颯爽	無所属議員A	無所属議員B	議決結果
市長提出議案									
第77号	表彰条例の一部改正	× [反]	○ [賛]	—	× [反]	—	○ [賛]	—	否決
79号	令和4年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
80号	令和4年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	× [反]	○	○	○	可決
81号	令和4年度麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	可決
86号	令和4年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決

※6月定例会議のその他の議案5件は、全会一致で可決・同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

議会内会派の構成

(議員の氏名は50音順、()内は略称)

自由民主党相模原市議団(自民党)	15人
秋本 仁 阿部 善博 大槻 和弘 大八木 聡 小野 弘 小野沢耕一 折笠 正治 佐藤 尚史 須田 毅 寺田 弘子 中村 昌治 服部 裕明 布施 初子 古内 明 渡部 俊明	
市民民主クラブ(市民民主)	13人
石川 達 臼井 貴彦 大沢 洋子 小田 貴久 金子豊貴男 栗原 大 小池 義和 桜井はるな 鈴木 秀成 関根雅吾郎 仁科なつ美 三須城太郎 森 繁之	
公明党相模原市議団(公明党)	8人
後田 博美 大崎 秀治 岡本 浩三 加藤 明德 久保田浩孝 中村 忠辰 南波 秀樹 西家 克己	
日本共産党相模原市議団(日本共産党)	4人
今宮 祐貴 田所健太郎 羽生田 学 松永千賀子	
颯爽の会(颯爽)	3人
五十嵐千代 野元 好美 長谷川くみ子	
会派に属していない議員(無所属)	
榎本 揚助(無所属議員A) 鈴木 晃地(無所属議員B)	

>>> インターネット中継のご案内

市議会ホームページでは、本会議・委員会の中継をしているよ。

視聴の方法は、「ライブ中継」と「録画中継」(開催日の翌日以降に視聴可能)の2通りがあるよ。また、会議録も閲覧できるよ。

ぜひチェックしてね!



ライブ中継

録画中継



相模原市議会ホームページの「議会中継(インターネット中継)」ページにアクセスしてね!



SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和3年度特別委員会 活動レポート

特別委員会とは

必要に応じて、特定の問題を調査研究する委員会だよ。今回は令和3年度に設置されていた6つの特別委員会のうち、次の3つの委員会を紹介するよ。

- 1 基地対策特別委員会**
米軍基地に関する諸問題について、議会が独自に検討すべき課題に対処
- 2 大都市制度に関する特別委員会**
大都市制度に関して調査研究を行い、国や政党への要請・要望を議会として集約
- 3 防災特別委員会**
大規模災害等に対する防災対策、水源地域対策について調査研究



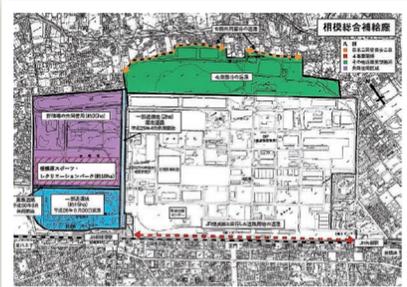
基地対策特別委員会

市内米軍基地の主な動きや航空機騒音の状況等について質疑

令和3年7月7日に開催された委員会では、在日米軍の新型コロナウイルス感染症対策や、相模総合補給廠北側道路整備事業の進捗状況、米軍航空機による騒音の状況等について担当部局に質疑を行ったほか、令和3年度の活動計画について協議しました。



令和3年7月7日の委員会の様子



相模総合補給廠全体図

大都市制度に関する特別委員会

国に対する要望や提案について質疑

令和3年6月25日に開催された委員会では、「国の施策及び予算に関する提案」や「大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望」の項目等について、担当部局に質疑を行ったほか、令和3年度の活動方針について協議しました。

また、令和3年8月19日に開催された委員会では、市の独自要望である「国の施策・制度に関する提案・要望書」の項目等について、担当部局に質疑を行いました。



令和3年6月25日の委員会の様子



国への要望書等

防災特別委員会

本市の防災・減災対策等について質疑

令和3年7月28日に開催された委員会では、災害対策基本法改正に係る避難勧告・避難指示の一本化や個別避難計画の作成に向けた取組等について担当部局に質疑を行ったほか、令和3年度の活動方針について協議しました。



令和3年7月28日の委員会の様子



避難勧告・避難指示の一本化をお知らせするチラシ

麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業に関する調査特別委員会

本委員会では、これまでに引き続き、下記の内容について協議を行いました。

- | | |
|----------------|----------------|
| 4月15日 証人喚問について | 5月26日 証人喚問 |
| 4月20日 証人喚問 | 6月7日 証人喚問について |
| 4月21日 証人喚問 | 6月27日 証人喚問について |
| 4月27日 証人喚問について | 7月4日 証人喚問 |
| 5月24日 証人喚問 | 7月14日 証人喚問 |

令和4年度広報会議

令和4年度の任期が始まりました。1年間よろしくお願ひいたします。 ※写真撮影時のみマスクを外しています。

広報会議では、市議会の活動状況を広く市民に周知し、議会及び市政に対する理解を深めてもらうため、議会に関心をもってもらえるような広報の在り方や、市議会だよりの編集、定例会議ポスターの作成等について協議を行っています。



さがみはらLOVE フォトギャラリー 「アユ釣り」

(緑区大島 相模川自然の村「清流の里」付近)
南区 神代 秀男さん
水清らかな相模川の上流、心身ともに浄化されたようになりました。水が清らかで、空気がさわやか満足です。

写真を募集しています! フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。次回掲載は第219号(11月1日発行)です。市内のお気に入りの風景等をご紹介ください。ご応募お待ちしております!

- 応募方法** Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、政策調査課 (Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp) へ
〒252-5277 中央区中央2-11-15 電話 042-769-9803
- 注意事項**
- 応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限りです。
 - Eメールの場合、1通の容量は11MB以内で送ってください。
 - 採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
 - 肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
 - 掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市議会政策調査課(☎042-769-9803)までお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから → [相模原市議会](#)

※この市議会だよりは17万2,300部作成し、1部当たりの単価は8.47円です。

また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。

